



関城の祭典 どすこいペア 筑西 2005

8月20日・21日の2日間、関城支所を会場に、『関城の祭典どすこいペア』が開催されました。

16回目を迎える今年も、各種相撲大会や、パレード、生唄盆踊り、ステージ発表、梨狩り体験、青空市、フリーマーケットなど様々な催しが開かれ、フィナーレを飾る神輿・お囃子競演まで、大勢の来場者で賑わいました。



▶ 平安朝相撲節会の中で舞われた浦安の舞



◀ 力士相手に真剣勝負を挑む子どもたち

『どすこいペア』とは
 どすこいは相撲の掛け声、ペア (pear) は
 英語で梨の意味。古くから伝わる梨相撲
 をモチーフとして、各種相撲大会を中心
 とする様々なイベントを毎年開催してい
 ます。主催は、どすこいペア実行委員会。



▶ オープンカーでパレードする富山市長とゲストの白鵬関



◀ 力自慢が集まった腕相撲大会



▶ 真剣勝負。レディース相撲



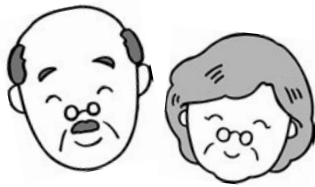
◀ 今年も好評。恒例の梨狩り体験



▶ ちびっ子相撲では、元気な豆力士が大活躍

流行に備えて受けましょう

高齢者インフルエンザ予防接種



インフルエンザの予防には、予防接種が効果的です。特に高齢者の発病や重症化を防ぐのに有効だといわれています。市では、高齢者が予防接種を受ける場合、費用の一部を負担します。予防接種を受けて、インフルエンザの感染を防ぎましょう。

■問い合わせ 市保健推進課 TEL (24) 2 2 6 7
下館保健センター TEL (24) 2 2 6 6 関城保健センター TEL (37) 6 0 4 4
明野保健センター TEL (52) 5 2 5 2 協和保健センター TEL (57) 9 1 3 1

発病や重症化を防ぐため、 予防接種が効果的

インフルエンザは、空気中に拡散されたウイルス菌によって感染します。流行は初冬から春先に見られ、気管支炎や肺炎などを併発し、重症化することが多いのが特徴です。特に高齢者が感染すると、生命にかかわることもあるため、注意が必要です。インフルエンザには、予防接種が有効です。接種を受けてから抵抗力がつかくまでに2週間程度の期間がかかり、効果が十分に持続する期間は約5か月とされています。また、その年により流行するウイルス菌が異なるため、毎年、流行が予測されるウイルスの予防接種を受けておくことが効果的です。

予防接種でインフルエンザを100%予防することはできません。しかし、高齢者の発病や重症化の防止に有効であることが確認されています。

高齢者を対象とした インフルエンザ予防接種

■対象

・対象者にはハガキ（受診券）を郵送します。受診券が無いと接種できません。接種日までに紛失しないように気をつけてください。

・予防接種を受ける日において、65歳以上の人が、予防接種を受ける日において、60歳以上65歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある人（詳しくはかかりつけの医療機関にお問い合わせください）

■期間

・平成17年10月1日（土）
～平成18年1月31日（火）

■費用

・公費負担金3,000円

※接種料金が3,000円を超える場合の差額は自己負担となります。

・生活保護世帯の方は無料です。福祉事務所で証明書の発行を受け、受診券とともに医療機関に提出してください。

・予診のみの場合は自己負担となります。

■接種時に持参するもの

・健康保険証
・郵送された受診券

■接種場所

・広域医療機関として県医師会へ申請した市内・市外の医療機関及び施設
・接種会場は、原則として県内です。やむを得ず他県を利用する方は市保健推進課にお問い合わせください。

■申し込み

・市内の医療機関を希望する方は、直接医療機関へ申し込みをしてください。
・市外の医療機関を希望する方は依頼書が必要です。地区の保健センター窓口にお越しください。

予防接種を受ける前に
次の事項に注意してください

○発熱のある人、予防接種によりアナフィラキシーを起こしたことがある人、その他医師が不適当な状態と判断した人は予防接種をうけることができません。

○心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気、その他慢性の病気で治療を受けている人、過去に予防接種を受けて発熱や発疹などアレルギーを思わせる異常が見られた人は、事前に医師と相談してください。

インフルエンザ予防接種の 予備知識ー予防接種の副反応ー

○予防接種の注射のあとが赤みを帯びたり、腫れたり、痛みを帯びることがあります。また、わずかですが、熱が出たり、寒気、頭痛、全身のだるさなどが見られることがあります。
○接種後、数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、意識障害の症状が、また、非常にまれですが、ショック症状やじんましん、呼吸困難などが現れることもあります。

市政メモ

■県道下館三和線関城バイパスが開通



8月8日、県道下館三和線関城バイパス（舟生一関本下、延長約4.3km）が開通しました。これにより関本地内の渋滞が緩和され、つくば関城工業団地へのアクセスも向上。また、『筑西幹線道路』の一部として、県西地域の活性化や交流促進につながる事が期待されます。

■道路ふれあい月間にあわせ美化清掃活動



8月10日、市は、茨城県建設業協会筑西支部の協力を得て、市内主要道路の美化清掃活動を行いました。187人、53台のダンプカーが参加し、集めたごみ647袋やたて看板32枚、自転車2台などを環境センターに運びました。

■関東鉄道常総線・下館一守谷に快速列車



つくばエクスプレス（TX）の開業にあわせ、8月24日から、関東鉄道常総線が快速列車の運行を開始しました。下館一守谷駅を46分（在来便に比べて約17分の短縮）で結び、より便利で速くなった常総線。これにより、県西地域の発展へとつながることが期待されます。

市長ほっとライン

市政に活かします。あなたの提言

市政は市民のもの。みなさんの意見に沿ったものでなければなりません。みなさん自らが市政に参加しなければ、より良い市民生活は実現できません。

この『市長ほっとライン』を使って、みなさんが日ごろ気がついたことやまちづくりについて、市長に直接メッセージを送ってみませんか。あなたの提言をお待ちしています。

なお、『市長ほっとライン』にいただいた提言は、広報筑西ピープルに掲載させていただくことがあります。

切手をはらず、そのままポストに

専用はがきを、市役所1階案内や各支所、公民館などの公共施設に用意しました。

はがきの裏に、市政に対するみなさんの提言などを、自由に書いてください。はがきの表には、必ず、みなさんの住所・氏名・年齢・電話番号・広報紙に掲載してもよいかを記入してください。

書き終わったはがきは、そのままポストに入れてください。切手を貼る必要はありません。



ファックス・電子メールで

みなさんの家庭から、曜日を問わず24時間いつでも、ファックスやパソコンを使って、市長に直接メッセージを送ることができます。必ず、住所・氏名・年齢・電話番号・ファックス番号（メールアドレス）・広報紙に掲載してもよいかを記入してください。

ファックスは直通番号で、電子メールは市ホームページの市長ほっとラインから送信することができます。

市長直通ファックス番号
25-5908

市ホームページ
<http://www.city.chikusei.lg.jp>

■問い合わせ

市長公室広報広聴課広聴係 内線 200・201